

理工学部FD委員会の主な活動

(1) 従来行ってきた授業見学に替えて、コロナ禍の中、教員が開発した様々な授業方法を共有する機会に繋げることを目的として、「アフターコロナを見据えた授業方法に関するアンケート」を行った。

(2) 3月15日、教員表彰委員会と合同でFDフォーラムを開催した。第1部として各種教員表彰と講演、第2部として「アフターコロナを見据えた授業方法に関するアンケート結果」というテーマで、アンケート報告及びディスカッションを行った。

その内容について詳細を報告する。

(1) 「アフターコロナを見据えた授業方法に関するアンケート」

昨年から世界的に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) によるパンデミックにより、大学での授業は急遽オンライン形式を余儀なくされた。そのようなオンライン形式による授業も、運用してから1年半が経ち、全教員が授業内容、規模、形態等に応じた様々なICTツールの活用方法や反転授業を開発されている。

理工学部FD委員会は、従来、授業見学を行ってきたが、今年度後期は、先生方が開発された様々な授業方法を「アフターコロナを見据えて共有する機会」に繋げ、教員間で共有するためにアンケートとして実施した。

【アンケートの趣旨】

- ・ ICTツールのより良い対面授業への活用方法を共有する。
- ・ ICTツールのオンライン形式への有効な活用方法を共有する。
- ・ 反転授業の在り方について考え、情報共有する機会とする。

【アンケート実施期間】

2021年12月24日(金)～2022年1月11日(火) (19日間)

【回答数】

6学科、1機構から寄せられた総回答数は55に上った。たいへん多くのご意見をお寄せいただいたことに対して、ここに全理工学部FD委員から感謝申し上げる。

(2) FDフォーラムの実施

日時：2022年3月15日(火) 14時30分～16時20分

会場：オンライン (Teams) +対面 (1223教室)

【第1部】

(1) 教員活動評価結果による研究費増額配分対象者の紹介、(2) 大学院理工学研究科教

員表彰、(3) 理工学部教員表彰、(4) 教員表彰受賞講演が行われた。大学院理工学研究科の教員表彰および理工学部教員の表彰は、教員どうしの推薦や授業アンケートの結果に基づき、2021 年度に教育・研究に優れた実績を上げた教員を教員表彰推薦委員会で審議し、候補者を理工学部長に推薦するものである。第1部門（教育貢献，授業アンケート評価含む）3件、第2部門（研究・社会活動）1件が表彰された。

【第2部】

「アフターコロナを見据えた授業方法に関するアンケート結果」というテーマで、アンケートに回答のまとめ・分析および代表的な回答の紹介各授業での取り組みについて FD 委員長から報告された後、参加者による積極的なディスカッションが行われた。特に「来年度以降の対面授業で、ICT ツールの有意義な活用が可能な科目」、「ICT ツールを活用したオンライン授業を継続することが有意義だと考えられる科目」「『反転授業』に合う科目、合わない科目」に関して、様々な意見が提示されるとともに議論が深められ、教員間で分断されていた情報を共有できる有意義な機会となった。なお、フォーラム参加者は72名を数えた。たいへん多くの理工学部構成員がご出席くださったことに、FD 委員会一同、ここに深く感謝の意をお伝えしたい。

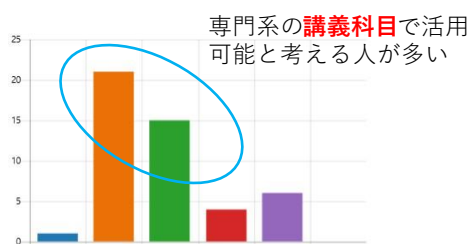
以下に、FD フォーラム第2部のスライドの一部を掲載させていただく。

【Q.2-Q.4】来年度以降の対面授業でICTツールの有意義な活用が可能な科目があれば、その具体的な活用方法をお答えください(科目名を記載するかどうかは任意です)

3. その科目の授業区分をお選びください

詳細

● 一般講義 (科学技術教養など)	1
● 一般講義 (専門必修)	21
● 一般講義 (専門選択or選択必...)	15
● ゼミ・演習	4
● 実習・実験	6
● オプション6	0



4. その科目の受講者数をお答えください

詳細

● 30人以下	3
● 30-50人	9
● 50-100人	24
● 100人以上	11



大人数の授業でも活用可能と考える人が多い

【Q.6-Q.9】 ICTツールを活用したオンライン授業(ハイフレックス授業を除く)を継続することが有意義だと考えられる科目があれば、お答えください

8. その科目の授業区分をお選びください

詳細

● 一般講義 (科学技術教養など)	14
● 一般講義 (専門必修)	5
● 一般講義 (専門選択or選択必..)	10
● ゼミ・演習	2
● 実習・実験	1



科学技術教養で有意義と考える人が多い

9. その科目の受講者数をお答えください

詳細

● 30人以下	2
● 30-50人	4
● 50-100人	20
● 100人以上	5



【Q.6-Q.9】 ICTツールを活用したオンライン授業(ハイフレックス授業を除く)を継続することが有意義だと考えられる科目があれば、お答えください

8. その科目の授業区分をお選びください

詳細

● 一般講義 (科学技術教養など)	14
● 一般講義 (専門必修)	5
● 一般講義 (専門選択or選択必..)	10
● ゼミ・演習	2
● 実習・実験	1



科学技術教養で有意義と考える人が多い

9. その科目の受講者数をお答えください

詳細

● 30人以下	2
● 30-50人	4
● 50-100人	20
● 100人以上	5

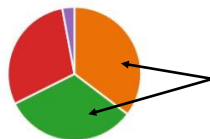


【Q.11-Q.13】 ご担当されている科目の中で、「**反転授業**」に合う科目があれば、その理由をお答えください(科目名を記載するかどうかは任意です)

12. その科目の授業区分をお選びください

詳細

● 一般講義 (科学技術教養など)	0
● 一般講義 (専門必修)	12
● 一般講義 (専門選択or選択必...)	11
● ゼミ・演習	10
● 実習・実験	1



講義科目、ゼミ・演習科目の両方で効果的と考える人が多い

13. その科目の受講者数をお答えください

詳細

● 30人以下	10
● 30-50人	7
● 50-100人	13
● 100人以上	4



50人以上の授業で効果的と考える人が半数

※受講者数だけでは判定できない
(【Q.15-Q.17】の結果参照)

【Q.15-Q.17】 ご担当されている科目の中で、「**反転授業**」に合わない科目があれば、その理由をお答えください(科目名を記載するかどうかは任意です)

16. その科目の授業区分をお選びください

詳細

● 一般講義 (科学技術教養など)	2
● 一般講義 (専門必修)	16
● 一般講義 (専門選択or選択必...)	8
● ゼミ・演習	3
● 実習・実験	4



ゼミ・演習科目では合わないと思う人は少ない

講義科目では合わないと思う人が多い

17. その科目の受講者数をお答えください

詳細

● 30人以下	3
● 30-50人	6
● 50-100人	20
● 100人以上	5



50人以上の授業では、反転授業は合わないと思う人が約3/4

※受講者数だけでは判定できない
(【Q.11-Q.13】の結果参照)